

報道機関各位

令和6年2月16日
北九州市産業経済局

世界トップレベルの小型 SAR 衛星を開発!
九州大学発 宇宙開発企業が市長と意見交換します
～本市開催のスタートアップ大規模イベントにも登壇～

近年、宇宙産業は世界規模で急成長を続けており、北九州市でも、ものづくり企業や大学などの街の強みを活かし、宇宙産業の振興に取り組み始めたところです。

こうした中、昨年12月に衛星分野の宇宙スタートアップ企業として初めて東京証券取引所に上場した、九州大学発の宇宙開発企業である(株)QPS研究所の大西社長が武内市長を表敬訪問します。

日本を代表する宇宙開発企業である(株)QPS研究所と今後の北九州市の宇宙産業の発展について意見交換を行いますので、ぜひ取材方よろしくお願いたします。

なお、大西社長には今年3月に北九州市で開催するスタートアップ大規模イベント「WORK & ROLE 2024」(※1)にて、宇宙をテーマとしたトークセッションに登壇いただく予定です。

- 1 日時 令和6年2月22日(木) 13:50~14:10
- 2 会場 北九州市役所(本庁舎)5階 第3応接室
- 3 訪問者 株式会社QPS研究所
代表取締役社長 CEO 大西 俊輔(おおにし しゅんすけ)
- 4 対応者 北九州市長 武内 和久
- 5 内容 事業内容についてのプレゼンテーション、意見交換、写真撮影

【株式会社QPS研究所について】

- ・世界トップレベルの高精細小型レーダー衛星「QPS-SAR」を開発。光学衛星では観測できない夜間や天候不良時でも観測できるSAR画像を提供。
- ・最終的に36機の衛星を打ち上げ、世界中のほぼどこでも平均10分間隔で観測できる「準リアルタイムデータ提供サービス」を目指す。

- ①設立 平成17年6月
- ②所在地 福岡市中央区天神一丁目15-35
- ③資本金 1,939百万円

【SAR 衛星について】

観測衛星には、光学センサーを用いる光学衛星と、マイクロ波センサーを用いる SAR 衛星の主に 2 種類があります。

(光学衛星 (画像) と SAR 衛星 (画像) の比較)

光学衛星	衛星の種類	SAR衛星
光学カメラ/センサー	観測手段	レーダー Synthetic Aperture Radar (合成開口レーダー)
 地表から反射した太陽光を観測する	仕組み	 衛星自身がマイクロ波を照射・受信する
昼間のみ	時間帯	24時間
晴天時のみ	天候	不問

※株式会社 QPS 研究所提供資料

※1 「WORK & ROLE 2024」について

スタートアップ大規模イベント「WORK & ROLE (ワーク アンド ロール)」を昨年に引き続き今年も開催します。

- ① 日時 令和6年3月27日(水) 11:00~21:00
- ② 会場 西日本総合展示場 新館 C展示場(小倉北区浅野三丁目8-1)
- ③ 内容
 - ・スタートアップ業界で活躍する著名な専門家によるトークセッション
 - ・支援スタートアップ(21社)による取組紹介(プレゼンテーション)
 - ・スタートアップの製品・サービスの展示、商談

※詳細のプログラムや登壇者は後日発表いたします。

- ④ 公式サイト <https://sep-k.com/workandrole2024>

【問合せ先】

(1) 市長表敬について

産業経済局 次世代産業推進課

担当課長：森永 担当係長：永井

TEL:093-582-2905

(2) 「WORK & ROLE 2024」について

産業経済局 スタートアップ推進課

担当課長：鎌田 担当係長：小濱(おばま)

TEL:093-551-3605